



読字原田 親

No. 594

2010/1/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区湯島
新大塚1-1-1 第1号ビル3階

日中友好協会
岡山支部
〒700-8256
岡山市東区3-8-30 511
TEL:086(272)-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8011
倉敷市港島中央1-8-1
(宮地町)
TEL/FAX:086(416)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



中国はどこへ向かうか

栗本 泰治

(これは、2009年11月15日の日中友好協会倉敷支部の第一回中国問題文化講座)での講演「中国はどこへ向かうか」の原稿を修正したものです、数回に分けて掲載いたします。

(私と中国) 1

ことし中国は建国60年の年にあたります。

私は60年前には倉敷の大原農業研究所にいました。同じ研究室の先輩が、いささか興奮気味に「栗本君、新中国が誕生したよ。遂にやったよ！」と大きな声で叫びながら研究室に入ってきたことがいまでも耳に残っています。

戦後間もないころで、わが国はアメリカの占領下にありました。そのアメリカの占領政策が急転換し、民主主義や軍国主義復活阻止をかかげていた当初の方針から、民主勢力を敵視する方向へとかわってきました。労働運動や民主運動を弾圧する謀略事件といわれた下山事件、三鷹事件、松川事件などが頻発したのもそのころです。その暗い時代に、お隣の中国では、抑圧された民衆が立ちあがって新しい国づくりをはじめたのです。国民が希望に燃えて前進する姿は、多くの国民の羨望の

的だったのです。

しばらくして、私は書店である一冊の本に出会いました。それは、その生涯の大部分を中国で過ごした、アジアの研究者オーエン・ラティモア夫妻による「中国」という岩波新書でした。

岩波新書が出始めたころです。その序文には、中国は世界でもっとも重要な国のひとつだが、おそらく次の百年間の間にはその中でもっとも重要な国となるだろう。中国は、植民地体制をうち破り、民族の独立、民主、統一、平和、繁栄に向かいつつある、と書いてありました。私はこの本をむさぼるように読みました。

それまで、エドガースノーやアグネス・スミスドレーなどの本から中国には多少関心を持っていましたが、その「中国」という本が私の目をひらいてくれたように思います。

その後、1953(S, 28)年に水島に来て、医療生協の仕事にたずさわるようになりました。

昭和32年、医療生協が創立後間もない、木造の小さな病院だったころのことです。佐藤義信先生(院長)が日中友好訪問団の一員に選ばれて中国を訪問されることになりました。佐藤先生は日頃から平和運動を熱心に取り組まれていたからです。

中国との国交回復の気運が盛りあがっていたころで、岡山の第六高等学校出身の中国の文化人郭沫若さんが岡山に来られ

て、後楽園にひとつがいの鶴を寄贈されたころです。佐藤先生の訪中の機会に、水島でも日中友好運動を盛りあげようと、日中友好協会をつくったり、講演会を開催したりしました。

1957年(S, 32)3月1日の夜、水島小学校の講堂をお借りして、日中友好運動の先達として有名な、内山完造さんを迎えて「日中友好・講演の夕べ」を開きました。

つづく

長岡日本語教室の忘年会

12月16日、長岡日本語教室の今年の締めくくりは、手作り餃子を囲んでの忘年会でした。

総勢16名。2歳の広翔君(益田さんのお孫さん)というかわいい参加もありました。

まずは、小麦粉をこねている横で、餡の準備です。白菜、白ねぎ、にら、生姜・みじん切りに疲れ、しばし包丁を持つ手を休めていると高杉芳恵さんから「未だ未だあるよ」と声をかけられます。さあ、包みますよ」の声かけにみんながテーブルに集まります。麵棒で皮を伸ばす熟練の技に見とれながら、いよいよ餡を包みます。私が作る

安さ」にひかれて北京や上海へのツアーに参加する人はこれからも絶えないだろう。その後も相変わらず同じような内容の広告をよく目にする。一度行ってみた人には、こういう旅も手軽でいいのかもしれない。

北京へ 12

坪井あき子



「北京飯店」15階のベランダから王府井をみる

子の皮作りを教えている様子に、新旧の受講生のあたたかい交流が垣間見えたのは印象的でした。このような忘年会は長岡教室開講以来初めてのことですが、普段の教室では得られない交流もいいなあと感じました。

せっかく来たのだから、と買い物をするのも一つの楽しみであろう。客の中には私のように何も買わず、批判の目で見られる人がまじついても、もともと多くの人々が日本円をどっさり使ってくれる以上、やめられない商売であろう。

猛暑の中を歩いた天安門広場、くもり空の中でぼんやりした姿しか見えなかった万里の長城、王府井の喧噪と活気、小さいかわいいた白花をつけていたアジアの街路樹、あの大地の上でいつしうけんめいに生きていた中国人の人々……晩秋の空を見上げながら、秋が最も美しいという北京の空を思う。そしてまた、中国へ行きたくなっている私である。

おわり



左から篠原明さん 高杉さん 工藤君 益田さん 貝吹さん 武藤さん 篠原玲さん

第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演 ⑩

第80回文化講座(09・5・16)での石子順さんのお話を掲載しています。

1950年代の、アメリカのハリウッド映画界で、ニクソンなどが上院議員で旗を振ったわけですが、ハリウッドは共産党によって支配されている「など」と言つて、マッカーシーというのはいました、そういうことを言い出したんです。

公聴会を開いて、映画人を呼びつけて、君は共産党員か、あるいはかつて共産党にかかわったことがあるか、イエスかノーか」という質問をして、それに対して答えなかったり、アメリカ憲法においては政治的信条は認められている。自分は

憲法に従っているんだから、その間には答えられない」と言った人は全部、ハリウッドから追放されて投獄されていくわけなんです。その中で、ハリウッドはメチャメチャになっていくんです。そのときハリウッドで一番政府の言いなりになって、反共というか、あれも赤だ、これも赤だ」と言いだして頑張ったのが、反共映画人連盟をやっていたジョン・ウェインという映画俳優です。ディズニーもそこで大変あくどい事もやっています。朝鮮戦争の前夜です。ハリウッドが全部赤に侵さ

れているといえはシヨッキンですよね。それで赤狩りを始めるわけです。

そういう歴史を、江青女子は学んだのではないかと思うんです。中国の映画界は皆、プチブルとかブルジョワとかそういう映画人によって占められている、だから革命が必要なんだ、ということになっていく。

文化大革命というのは、大きな十年間の大災害、大政治災害、毛沢東の大きな過ちであるということ、文革が終わって暫らくたってから反省も批判も起こりました。

しかし、始まったときには映画界、漫画界も全部やられてひどい状況になった。つまり大衆文化、視覚文化です。だから、誰が見てもわかるもの、そこから、それをどう動かすかということになってくるわけですね。

つづく

『おひといさまの老後』を読み、老後の社会保障について学ぶ

(第二回)

日時: 1月23日(土)午後2時~

場所: 岡西公民館

講師: 米田信敏さん(医療ソーシャルワーカー)

会費: 100円(資料代)

第1回の学習会が大変好評でしたが、参加人数が少なくて、もったいないという声が寄せられています。

大変今日的なテーマで、人権問題としても、一人一人の生き方にとっても重要な問題です。

病気をしたらどうなるのか、信頼できる病院は確保できるのか、退院する時はどこへ帰るのか、自分の意思を本当に活かせるのか、等々。

高すぎる医療費負担。介護保険では、待機の問題、高い入所費用など、問題は山積みです。

でも米田さんは、そういう状況の中でも「大丈夫です、何とかあります。その人が回りの人に、助けてほしいと訴えれば、誰も放っておかない。そういう人と人との繋がりこそが一番大事なことです。」とおっしゃっています。

皆さんも自分の人権をどのように守っていくのか、憲法9条の会が25条の生存権を学ぶ目的も、そこにあるのではないのでしょうか。次回は、皆さんもいかがですか。

真田

「政策形成訴訟」を読んで

坪井あき子



発行: 中国 残留孤児「国家賠償訴訟」弁護団全国連絡会議
定価: 本体三〇〇〇円+税

2003年9月、日中友好協会の小林軍治氏が3名の孤児を連れて岡山合同法律事務所を訪ねたことが孤児と弁護士との最初の出会いであった(60ページ)ここからすべてが始まった。

小林さんが残留孤児たちによせる思いの深さは、自分自身がやつと親に連れて帰ってもら

つたから、孤児にならなかつた。という幼児のときの体験に根ざしているのだろう。

この本には、日本人として生きることを求め、その政策をつくらせるまでの一 2211人の中国残留孤児と全国15弁護士団がともに闘った7年の、感動的な人間ドラマがギュッと詰め込まれている。その背後にはさらに無数の良心的な人々の支援があった。

また朝日新聞や地方の新聞が写真や記事で取り上げたことも大きな力になった。こうした貴重な歩みがあるま本の中に取り入れられているのも、読みやすさの一因だろう。

裁判が大づめを迎えるな

二ホン語を教える人のための5カ条

竹内和夫

- 一、相手は何を求めているのか? 赤ちゃんではない。発見しよう。
- 二、アイウエオは、何のために教えるのか?
- 三、二省堂、新明解国語辞典
- 三、どんな練習をするべきか?
- ①、濁音と、無気音のちがひ。
- ②、大切なのは、拍、ん、っ、お
- お...
- 四、どんな単語や文が必要か? きょうは、なにを、勉強するのか?

☆疑問 固有名詞 文法 (肯定・否定、待遇、遠か近か...)

五、二ホン語、いまとむかし。

二ホン語の科学的な認識はどこからえられるか?

◎小松英雄 『ろはうた』 (中公新書 518)

◎山口仲美 『日本語の歴史』 (岩波新書 1018)

次回の新聞発送作業は

1月21日(木)午後1時半

民主会館2階で行います。

前回お手伝いくださった方

由木葉吹井林和

青稲貝河小竹内坪